

第 55 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会 議事録

日 時：2026 年 1 月 28 日（水） 15：00～17：20

形 式：オンライン会議（Zoom）

場 所：（ホスト会場）薬学教育協議会事務局

出席者：別記 1

配付資料：別記 2

○報告・協議事項

1. 2025(R7)年度 第Ⅲ期実務実習報告および良い事例の報告（資料 1）

資料 1 に基づき、各地区支部長が 2025(R7)年度第Ⅲ期の実務実習について、良い事例の報告とトラブル報告を含め、実務実習の報告を行ない、委員間で共有した。以前は良い事例として挙がっていたものが、今は当たり前となり実務実習の内容がレベルアップしているように感じるとの意見が複数の支部長からあった。

2. ふるさと実習調整結果について（資料 2）

資料 2 によりふるさと実習の調整結果を共有した。

3. 2027(R9)年度に向けた調整スケジュールについて（資料 3）

資料 3 に基づき、各地区の 2026(R8)年度に向けた調整スケジュールについて確認した。

ふるさと実習の調整結果の連絡が実習開始間際になることがあり、そのような状況が続くとふるさと実習を学生が避けることが懸念されるため、調整が完了したらなるべく早めに該当地区へ連絡をするよう事務局からお願いした。

4. 2026(R8)年度 実務実習広報用ポスターについて（資料 4）

2026(R8)年度の実務実習広報用ポスターは、薬局において撮影が行われ、文部科学省、厚生労働省を含む 8 団体より後援、名義使用の承諾をいただいたと本間代表理事が報告した。また、2027(R9)年度のポスターは日本病院薬剤師会に撮影協力を依頼し、撮影は 8 月頃を予定している。

5. 実務実習指導薬剤師の認定業務に関する報告（資料 5）

資料 5 に基づき、事務局が 1 月 23 日時点での認定申請と審査状況を報告した。

新規認定審査の不可理由で多い「講習会・WS 受講時の勤務『継続して 3 年未満』」については、2027 年度 4 月から改訂される認定実務実習認定制度実施要領によって、改善されることが期待される、と事務局が説明した。

6. 受入施設一覧（実績）およびワーキンググループの設置について

第 54 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会（2025.9.17 開催）で、事務局から各地区へ報

告をお願いした毎期終了後の実務実習受入施設一覧について、ご協力いただいたことに事務局からお礼が述べられた。一方、受入施設の情報管理に関して各地区の状況が異なるため、負担をおかけしたことにお詫びが述べられた。また、引き続き実務実習を円滑に実施するために受入施設(実績)の把握が必要である旨を本間代表理事が説明し、受入実績を2027(R9)年度から協議会本部で把握するために、各地区から選出されたメンバーでワーキンググループを設置することが提案され、異議はなく了承された。なお、2026(R8)年度については、割り振り結果を報告してもらい、毎期終了後に変更について報告をお願いしたいと事務局が発言し特に異議はなかった。

7. 認定実務実習指導薬剤師養成研修委員会 WG の報告 (資料 6)

平田委員(認定実務実習指導薬剤師養成研修委員会 委員長)が資料 6 に基づき、新規講習会プログラム改訂および薬学教育者ワークショップのプログラム改訂について説明した。また今後の実施までのスケジュールについて報告した。ワークショップについては、2月に改訂版ワークショップを実施し、4月に各地区へプログラムの変更点を伝達するための伝達講習会を予定していることが説明された。

8. 実務実習 WEB システムの改訂に関する報告 (資料 7)

資料 7 に基づき、新コアカリ対応の実務実習 WEB システムの基本仕様について本間代表理事が説明した。ガイドラインの改訂を受け、実務実習 WEB システム検討委員会において、修正内容を審議し最終案をまとめ、2025年11月28日にシステム業者等を対象とした説明会を行ったことを報告した。説明会の内容は、大学、施設等の関係者にも参考となるので録画動画を公開したことを報告した。

9. 病院・薬局実務実習推進委員会の報告 (資料 8)

資料 8-2~8-3 について、実務実習に関するガイドライン改訂ワーキンググループで検討を重ね、1月14日に開催した上部委員会である病院・薬局実務実習推進委員会において、審議され承認された内容を本間代表理事が報告した。主な内容は以下のとおり。なお、当該委員会にて決定したことは、2月に開催予定の新六者懇に報告する。

- 「薬学実践実習に関する指針」の承認 (2026.1.23 公表)

「薬学実践実習に関する指針」について、単科病院での実習や薬剤師の確保を特に図るべき区域における実習など、認定実務実習指導薬剤師不在の施設での実習について質問があり、原則としては実務実習に準じた要件で実施すると本間代表理事が回答した。

- 薬学実践実習に関するアンケート調査 (大学向け) (2026.1.19 依頼済み)

- 薬学実践実習に関するアンケート調査 (医療提供施設向け) (2026.2月依頼予定)

医療提供施設向けのアンケート調査については、1月30日開催の施設向け説明会後に各地区調整機構にご協力をお願いする予定である。その際、実務実習の受入実績がない施設に対してもアンケート調査を行なってほしいと本間代表理事が発言した。

- 薬学実務実習に関するアンケート集計結果
2026年6月に大学、地区調整機構の協力のもと実施した、実務実習に関するアンケート調査の集計結果が整ったので、後日委員へ送ることとなった。

10. その他

- 関東地区より実習費の値上げを要求されることが増えて困っているとの意見があり、実習費に関して意見交換した。
- 協議会本部や地区調整機構の業務が年々多くなり、従業員が増え、働き方の変化に伴い、来年度から社労士事務所へ給与計算業務を委託することが本間代表理事より提案され（該当する地区へはメールにて連絡済み）、異議なく承認された。

以上

別記 1

第 55 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会出席者名簿

所属	出席者名 (敬称略)	出欠
北海道地区調整機構	平野 剛	○
東北地区調整機構	福地 祐司	○
関東地区調整機構	中村 智徳	○
北陸地区調整機構	石川 和宏	○
東海地区調整機構	松浦 克彦	○
近畿地区調整機構	名徳 倫明	○
中国・四国地区調整機構	四宮 一昭	○
九州・山口地区調整機構	江川 孝	○
日本薬剤師会	渡邊 大記	欠
	長津 雅則	○
日本病院薬剤師会	和泉 啓司郎	○
	石井 伊都子	○
日本保険薬局協会	原 正朝	○
薬学教育協議会本部	平田 収正	○
	本間 浩	○
日本チェーンドラッグストア協会（オブザーバー）	本橋 勝	○
文部科学省高等教育局医学教育課	小林 一隆	○
	熊木 良太	○
	金子 早也香	○
	瀬川 優香理	○
厚生労働省医薬局総務課	木下 徳康	○
	遠阪 聡子	○
	長谷部 詩織	○

別記 2 配付資料

＜配付資料＞

資料 1-1：2025(R7)年度 第Ⅲ期実務実習の良い事例報告

資料 1-2：2025(R7)年度 第Ⅲ期実務実習に関わる各地区の報告書

資料 2： 2026(R8)年度 ふるさと実習調整結果

資料 3： 2027(R9)年度に向けた調整スケジュール

資料 4： 2026(R8)年度 実務実習広報用ポスター

資料 5： 認定実務実習指導薬剤師 申請・審査状況 等

資料 6： 新規講習会、薬学教育者ワークショップのプログラム改訂について

資料 7： 新コアカリ対応 WEB システム仕様（最終版）

資料 8-1：2025 年度第 1 回病院・薬局実務実習推進委員会 議事録

資料 8-2：「薬学実践実習に関する指針」

資料 8-3：薬学実践実習に関するアンケート調査（大学向け）

資料 8-4：薬学実践実習に関するアンケート調査（医療提供施設向け）

参考資料：第 54 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事録